

(別紙3) 現行データ連携一覧(特別児童扶養手当)

No.	データ作成元システム	方向	データ連携先システム	連携情報名・主な項目	連携方式	連携単位	データ形式	処理タイミング	標準外連携	コード変換の有無	コード変換の仕様	連携手段	備考
(例)	個人住民税	→	後期高齢者医療	課税情報	手動	全件及び差分	固定長	年次及び月次		○	ASCII→EBCDIC	共通基盤連携	
1	『どうぶつえん』児童手当・特別児童扶養手当共通システム	→	個人所得税・住民税	課税情報依頼	手動	全件及び差分	固定長	随時	●			媒体連携(職員介在)	児童手当システム・特別児童扶養手当システムそれぞれで対象者を出力。 本データを基盤が取得し、No.5のデータを基盤側にて作成。
2	個人所得税・住民税	→	『どうぶつえん』児童手当・特別児童扶養手当共通システム	課税情報	手動	全件及び差分	固定長	随時		×		媒体連携(職員介在)	共通フォルダを介して『どうぶつえん』システムでバッチ取込(手動)
3	住民基本台帳	→	『どうぶつえん』児童手当・特別児童扶養手当共通システム	住基データ	手動	差分	CSV	日次		×		媒体連携(職員介在)	共通フォルダを介してバッチ取込(手動)
4	『どうぶつえん』児童手当・特別児童扶養手当共通システム	→	連携統合宛名番号情報	マイナンバー依頼	自動	差分		日次	●			共通基盤連携	フラグファイルの送信 基盤にてフラグファイルの有りの場合、No.8のデータを基盤側にて作成。
5	連携統合宛名番号情報	→	『どうぶつえん』児童手当・特別児童扶養手当共通システム	マイナンバー	自動	差分	CSV	日次		×		共通基盤連携	